

## 議会報告会会議録

1 開会日	平成24年5月12日 午後 6時30分 開会 午後 8時30分 閉会
2 場所	西小磯東老人憩の家1階広間
3 出席議員	渡辺順子議長 (開会あいさつ) 奥津勝子副議長 (閉会あいさつ) 高橋英俊議員 (司会) 吉川重雄議員 (平成24年度予算の主な事業報告) 清水弘子議員 (主な議案審議報告) 渡辺順子議長 (前回の議会報告会の結果説明) 高橋富美子議員 (記録)
4 傍聴議員	二宮加寿子議員 土橋秀雄議員 片野哲生議員 竹内恵美子議員 鈴木京子議員 高橋英俊議員 関威國議員
5 参加者	14人
6 報告事項	(1) 平成24年度予算の主な事業について (2) 主な議案について ・大磯町部等設置条例 ・大磯町介護保険条例の一部を改正する条例 (3) 前回報告の結果について ・議員報酬等 (4) その他
7 その他	

平成 24 年度第 1 回(5 月)の議会報告会は、より多くの方の参加の機会をふやすため、曜日・時間帯を工夫し、3 会場で実施した。今回は第 3 会場にあたる。

議員自己紹介の後、議長からあいさつを行い、各報告担当議員から『議会だより大磯』第 164 号を資料として、予算や主な議案に対する審議経過を報告し、質疑応答を行った。

#### (1) 議長あいさつ

議会基本条例に規定する議会報告会のあり方について説明。

議会報告会は、議案審査における議論の経過・結果など議会としての考え方を報告するものであり、町に替わって答弁するものではない。また、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。いただいた意見・要望は、今後、政策提言に結びつけるなど、議会運営の改善を進めていくことを説明した。

#### (2) 平成 24 年度予算の主な事業について・・・吉川重雄議員報告

『議会だより大磯』第 164 号の 2・3 ページに基づき、平成 24 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

##### ◎主な質疑

問： 給食食材の放射能測定について県教育委員会に確認した。当日の食材は測定できないため後日結果が出るとのことであった。真鶴町では測定器を購入して調べている(真鶴町基準は 40 ベクレル)。大磯町も独自の基準で対応してほしい。なお、空間線量は大磯小、中で高い線量場所が見つかったが、即日除染していただいた。給食についても願います。

答： 4 月に福祉文教常任委員会で真鶴町を視察した。給食食材 5 品目について当日朝に測定している。基準(40 ベクレル)を超えた品目がある場合は、そのメニューを外すということであった。測定器は約 140 万円である。給食食材の放射能測定については、意見・提言を踏まえ町へ働きかけていく。

問： 一般会計 92 億 8,700 万円の実質単年度収支はどうなっているか。平成 23 年 5 月に財政健全化計画・5 ヵ年計画が出された。平成 24 年度では 8 億円の支出増である。5 ヵ年計画と平成 24 年度予算はリンクしているのか。また、財政健全化計画から見た収入減に対する長期的ビジョンはあるのか。

答： 実質収支は決算の時点、通常 9 月に示されることになる。例えば、住民税の歳入予算は計画よりも減額となっている。個人の所得が見込みより伸びていない現実がある。そのような中で将来に向けて起債(借金)を減らしていくような取組みをしていかなければならない。

問： 生活交通確保対策事業が開始されたが、赤坂ルートは設定されておらず、駅前からの本数も往復1本であり、午後1時～2時の時間帯では利用できない。お年寄りからも利用に問題あるとの意見が出ている。ルートもそうであるが、時間帯について利用できるようもう少し本数を増やしてほしい。

答： 赤坂台は道が狭いため、バスが通行できないという理由から今回は見送ったということである。議会としては、平成24年度一般会計予算に対する付帯決議の中で、生活交通対策について赤坂台への運行を含む再検討を求めている。意見・要望については町へ申し送る。

### (3) 主な議案について・・・清水弘子議員報告

3月定例会で審議された議案のうち、「大磯町部等設置条例」及び「大磯町介護保険条例の一部を改正する条例」の二つ議案について、『議会だより大磯』第164号の5・6ページに基づき、審議内容等を報告。

#### ◎主な質疑

問： 組織づくりにおけるピラミッド型のメリット何か、一般論では通らない。課長がチェック機能を果たしていればフラット制のほうがよい。部長に頼ることなく、課長の横の調整機能の強化をすべきである。

答： 町では職員アンケートを実施した。実際にフラット制を3年程経験した職員からは、元の部長制(ピラミッド型)のほうが良いという意見がとても多かった。議会としては、職員が機能的に働くことができれば町民のためにもなるため、新組織でしっかり働いてほしいという判断をした。

### (4) 前回報告の結果について・・・渡辺順子議長報告

前回(平成23年5月)の議会報告会において、議員報酬等について多くの意見をいただき、議員報酬検討特別委員会において結論を出した。その内容について、報告した。

### (5) その他

全体を通して、質疑を行った。

#### ◎主な質疑

問： 小学校修学旅行のことが心配である。現在、大磯、二宮合同で行っている場所は、空間線量も高く、土壤汚染濃度も文科省のホームページでは放射線管理区域1平方メートル当たり、40,000ベクレルに近い数値である。学校長にお願いしたが、変更しないとのことであるが、足柄下郡は去年、静岡へ変更している。危機管理という点で、感受性の強い子どもを連れていくことを考え、他の選択肢を持つ必要があるのではないか。

答： 修学旅行先を変更した真鶴町の話では、旅行会社、相手先の旅館などこれまでの関連等があるため、行き先を変更することはかなりハードルが高いよ

うに感じられた。足柄下郡は学校長の判断で決めたということである。議会としては今後、福祉文教常任委員会等で意見交換をしたいとは考えているが、方向性は決まっていない。

問： 大磯小学校体育館の耐震設計委託料の内容はどのようなものか。

答： 耐震診断は平成 23 年度の予算で行われた。この耐震診断は、耐震偽装問題により第三者判定委員会が見直し、二重にチェックを行うこととなっている。この第三者判定委員会の判定により、体育館屋根の部分溶接が弱く 0.75 という Is 値を満たさないことから、体育館の屋根等の補強工事が必要となった。議会としては早期に補強工事を進めるため、4 月の臨時会で実施設計委託料の補正予算を可決した。

問： イノシシが出没する地区とその現状はどのような内容か。

答： 西小磯の赤坂台の下の穴虫で多く出没している。捕獲のために、平成 21 年度からステンレス製の箱穴を設置し、毎年 2 基、3 基とふやしてきている。箱穴の設置には資格がいるので、資格をとる代金を町で補助したり、電気柵をつける補助金もつけている。イノシシが嫌う唐辛子を吊り下げるなどの自衛策も投げかけているが、イノシシの繁殖力は強く、対応に追われている状況である。

問： 役場の総合受付は必要なのか。今の中小企業はほとんど受付を持っていない。大磯町は中小企業規模であり、入口近くの部署が対応すればよい。財政的に厳しい中、支出削減を考えてほしい。

答： 職員数が決まっている中で、受付のあり方をどのように考えるか。貴重な意見として、町へ申し送りする。

## (6) 閉 会